

令和6年度主要事業

実施予定の主要事業と予算は次のとおりです。市でも積極的に取り組んでいる「SDGs」の各目標と関連する「令和6年度主要事業」の分野にアイコンを併記しています。

充実して暮らせるまち

白石市との姉妹都市協定締結
30周年記念式典の実施

新規 180万円

宮城県白石市との姉妹都市締結から30周年を迎えるため、「30周年記念式典」を行います。



観光名所の白石城

国際化事業の充実

新規 1500万円

市内在住の外国籍市民を対象に「二元的相談窓口」「日本語教育支援」「多文化交流」を3つの柱として、国際化事業を展開します。

YouBus実証運行の実施 （門沢橋ルート）

新規 3600万円

You Busの実証運行を下今泉地区に続いて門沢橋地区でも開始しました。既存の地域公共交通で対応しきれないきめ細かな移動支援を行います。



豊かな学びを育むまち



学校教材の無償化

新規 1億5000万円

小・中学校全児童・生徒の教材費を無償化します。

健やかに暮らせるまち

デマンド型交通 高齢者外出支援実証運行

新規 7600万円

よりきめ細かな高齢者外出支援を目指し、乗り合いで運用するデマンド型交通「えび〜くる」の実証運行を開始します。



がん患者等医療用補整具 購入費用の助成

新規 180万円

がん治療による外見の変化を補うため、ウィッグと胸部補整具の購入費用を助成（上限3万円）します。

中学校完全給食の実施 （給食費一部公費負担）

新規 3800万円

ことし4月から中学校の完全給食を開始しました。物価高騰に伴い保護者の負担軽減を図るため、今年度は小・中学校ともに1食あたり20円を公費負担します。



小・中学校屋内運動場 空調機の整備

新規 4300万円

児童・生徒に安全・安心な学習環境を提供するとともに、避難所予定施設として機能強化を図るため、小・中学校の屋内運動場に空調機を整備します。



にぎわいがあり 自然に優しいまち

イルミネーションの シンボルツリーの設置

新規 800万円

海老名駅東口にイルミネーションのシンボルツリーを設置し、海老名駅周辺のさらなるにぎわいを創出します。

電気自動車急速充電器の 再整備

新規 1200万円

電気自動車の普及を促進するため、市庁舎前に設置している電気自動車の急速充電器を再整備します。



安全で安心して 暮らせるまち



4市間の消防通信指令業務の 共同運用に向けた整備 （指令システム設計業務）

1300万円

災害情報を一元化し、応援体制の充実強化を図るため、海老名市・座間市・綾瀬市消防指令センターを大和市を加えた4市で共同運用します。



市内コンビニエンスストアへの AED設置

新規 130万円

市内コンビニエンスストアにAEDを設置し、救命率の向上に繋がる利用環境の整備を進めます。



便利で快適に暮らせるまち



中新田丸田地区 土地区画整理事業の推進

2300万円

土地区画整理事業により新市街地の形成に向けて取り組みを進めている中新田丸田地区は、ことし3月29日に市街化区域に編入し、組合が設立されたことから、造成工事に向けた地盤改良を実施します。



新市街地イメージ

海老名駅東口自由通路 延伸による歩行者空間の確保

2600万円

来街者や居住人口の増加を見込み、安全で回遊性のある歩行者空間を確保するため、市道海老名駅大谷線の東側を通る自由通路延伸に関する基本計画を策定します。

かがやきを創造するまち



市が発行する刊行物の 電子ブック化

新規 50万円

PDFファイルから電子ブックを作成するサービスを導入し、多言語対応のデジタルブックを配信します。

新たな発見ができるまち



「#好きです海老名」の 投稿写真などで写真集を作成

新規 60万円

市政情報と魅力情報を発信するため、インスタグラムの「#好きです海老名」の投稿写真や、「#好きです海老名写真募集」の応募作品を活用して写真集を作成します。



令和6年度予算トピック

令和5年度補正予算と一体的に編成

国の補正予算に伴い補助金を活用するため、市道59号線拡幅改良工事や小・中学校の改修工事などを昨年度中に前倒しで着手しました。前倒した事業の予算額は5億8000万円、今年度の一般会計予算額と合わせると514億7100万円になります。